



漁業調査指導船

江の島丸コラム

新人紹介

こんにちは、水産技術センター漁業調査指導船 7 代目の江の島丸（105 トン）に乗船して 2 年目の新人？で操舵手の星野と申します。

今回のコラムを担当しますが、文章を書くのが苦手なので、読みづらいと思いますが、どうぞよろしくをお願いします。

実は私 2 年前に神奈川県を退職し再任用で現江の島丸に再度お世話になっています。

私の職歴は昭和 51 年 4 月当時の水産試験場の漁業調査船 5 代目の江の島丸（83 トン）に乗船して現在に至ります。

最近の江の島丸の調査海域は相模湾、東京湾、伊豆諸島ですが、私が初めて 5 代目の江の島丸（83 トン）に乗船した頃は、日本海から北海道東海域、南は小笠原・沖縄のさまざまな海域で海洋調査及び漁獲資源調査を行い、いろいろな港に入港しました。

過去 44 年間で江の島丸が寄港したことのある港は、北は北海道小樽港、南は小笠原父島二見港・沖縄那覇港までの日本各地の港（38ヶ所）です。長々と自分の自慢話？になりましたが、長い船員生活の中で 6 代目江の島丸（99 トン）に乗船していた時に寄港した港で撮影した写真 2 点を紹介します。偶然にも 2 点共に亀の写真です。

（その 1）



この写真は2008年12月に相模湾底魚資源調査で神奈川県真鶴港に入港し、次の日、早朝出港前に江の島丸船尾と岸壁の間に泳いでいたのを撮影したものです。

(その2)



この写真は映画好きの方ならわかると思います。

2009年11月に紀伊半島東部のサバ資源調査で三重県志摩市浜島町に入港した岸壁付近の磯体験施設”海ほおずき”前に展示していたので思わず写真を撮りました。

現在は展示していないかも？

後にテレビ放映されたのを見て“映画カメラ”で使用したものだとなりました。

最後になりますが、「江の島丸」の安全運航と海洋調査及び漁獲資源調査等の業務を円滑また、安全に行えるよう職務に貢献し頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ致します。